

第93回メーデー中央大会

3年ぶりの現地開催

4800人結集

村田きょうこ氏も駆けつけ



JAM参加者は横断幕を掲げアピール

写真は一部加工

4月29日に第93回メーデー中央大会が東京・代々木公園で開かれた。現地結集開催は2019年以来3年ぶりになる。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加者数に制限が設けられ、約4800人の働く仲間が集結した。

JAMからは、JAM東京千葉の単組・役員、JAM大手労組、本部役員など約250人が参加した。

芳野友子連合会長（JAM副会長・JAM東京千葉・JUKI労組）は、ロシアによるウクライナ軍事侵攻について「子どもを含む多くの民間人が無差別に攻撃され、平和なくらしが壊されている。ロシアによる軍事侵攻は、国際平和と秩序に対する暴挙であり、改めて厳しく非難し、即時撤退を強く求める」。コロナ禍で多くの労働者、女性、外国人が大きな打撃を受けているとし、「社会的セーフティネットの強化につながる政策・制度を通じて、雇用とくらしを守り、将来の希望につなげることが重要である」。春闘では、「賃上げの流れを最後まで継続させ、日本全体へ広げ

ていかなければならない」などと述べた。

JAM推薦「村田きょうこ」氏が駆けつけ

JAM推薦の参議院選挙候補予定者「村田きょうこ」氏が会場に駆けつけ、「価値を認めあう社会へ」（「製品」と「労働」に適正な評価を）と「PEACE NO WAR 世界に恒久平和を！」の横断幕でJAMの参加者と一緒にアピールした（写真上中央）。



壇上ではウクライナの国旗カラーでPEACE NO WARをアピール